

ユンボ

3年

よしだかずほ



うし

1年

あきばひでちか



ユンボ

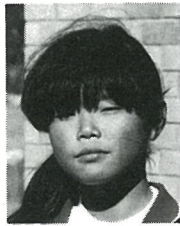
3年

すなだのりつぐ



有志マラソンがスタートした。いつものペースで走った。しばらく走っていると、のどがいたくていなくてこきゅうがみだれたが、みんなも苦しんでいると思っながら走った。
あと、三十メートルぐらいで折り返しだったが、足が重くて止まりたいと思っただが、後を見ると止まっている人は一人

運動会の有志マラソン



5年 高橋 美紀

まほう使いが走ってくる
二つの光る目をもって、
まほう使いの体が見えてきた。
いつもより速度をゆるめて
通りすぎる。
白いもやの中にすいこまれ
二つの光がきえていく。

もや



5年 川島 信祐

そん真っ白な中を
まほう使いが走ってくる
二つの光る目をもって、
まほう使いの体が見えてきた。
いつもより速度をゆるめて
通りすぎる。
白いもやの中にすいこまれ
二つの光がきえていく。

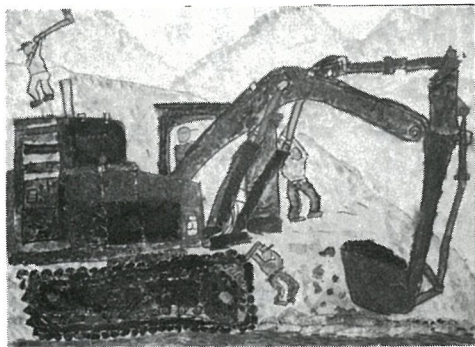
外に出て空を見ると
小さな雲
大きな雲
真っ黒な雲

雲



6年 平野 絵美

もない。みんなもつかれているんだと思っ走った。
折り返して、先頭を見ると、六年生の山内さん、典子さん、和子さん、わたしという順だ。山内さんは、いつもマラソンをしているので速いんだと思った。
あともう少しでトラックに入る。もう、つかれて何が何だかわからない感じで、手足が、勝手に動いているようだった。ゴールするまでは、止ってはだめとだれかが言っているようだった。あと一周だと思っ、手をふってがんばった。みんなが、
「がんばって、がんばって。」
と応援してくれた。やっとゴールして列にならぶとその場にすわりこんでしまった。
校長先生にメダルやノート、鉛筆をもらった。それらもらったら急に元気になるってつかれなんて忘れてしまった。みんなが「おめでとう」と言ってくれた。五年生の女子で一位になったので、メダルがいただけただのだ。



ユンボ

3年

こうごたけひこ



真っ白な雲
空には、雲・雲がいっぱい
空をじっと見ると
だれかさんの顔の形がある
どうぶつ形の雲があったり。
雲を見るとき
いろいろな形の雲がいっぱい
ぞうさんの形の雲にのって
空の上をたんけんして
自分の手でおもしろい
雲の形を作りたいな。

お詫び
先月号のひかり歌壇で紹介した、
椎名正三さんの作品中に掲載の誤りがありました。
訂正し、お詫びいたします。
椎名 正三
愛と恕と慈悲の御教えこの国ゆ
消え行く如し富みしが故か